



こんにちは

白子の議会

です

第130号

平成30年11月15日

編集発行
千葉県白子町議会
☎0475(33)2169



▲ 秋季祭礼を迎えた白子神社

第3回 定例会

平成30年第3回定例会が9月10日と13日開催されました。
一般質問は、5名の議員が町政をただしました。

- 5議員が一般質問……………2～6ページ
- 補正予算質疑応答、こんなことが決まりました、
行政視察研修報告……………7～8ページ



町議会を傍聴しましょう。

次の定例会は12月10～13日の予定です。

詳しいことは議会事務局へ。TEL33-2169
白子の議会についてご意見、ご感想をお寄せ下さい。

一般質問

町政をきく

南白亀地区緊急避難施設 について

宗島 理仁 議員

議員 南日亀地区緊急避難施設の完成に伴い、その後の管理が重要になってくるかと思えます。

平常時の利用、夜間管理、塩害の影響について検討されたのか伺います。

また、二次災害を発生させないための最低限の資機材の整備として、ラジオ、生命維持のための水、防寒具、さらには夜間避難所に移動するための懐中電灯など、備蓄していくべきかと思えますが、設置する予定はあるのか伺います。



徐々に整備していく

町長 現在建設中であります南白亀地区の緊急避難施設について、ほぼ完成をしておりますので、10月28日の避難訓練で使用する計画をしております。

また、平常時は、公園として、健康づくりや子どもたちの遊び場等で活用する予定です。

水やライフジャケットは用意を予定しております。

その他については、不十分なところもありますので、徐々に整備していきたいと思っております。

白潟地区における緊急避難施設建設 について

議員 去る6月末から7月初旬ごろ、白潟地区の

中川岸、南川岸、五井東の各自治会、及び八斗東を含む区域内への津波避難施設への早急な建設についての要望があったかと思えます。

南白亀地区の終了と同時に白潟地区を着手すべきだと思えますが、今回の補正予算には調査費が計上されていません。今後の予定を伺います。

具体的な構想もなし

町長 白潟地区に関しては、まだ具体的な構想等もありません。

白潟地区も要望書を出すだけでなく、地元で具体的な議論があれば進みが早くなると思っております。

白子町移住・定住促進プロモーション事業について

議員 20代から30代の子育て世代をターゲットとし、ウエブサイト等にて本町の魅力である豊かな

自然や、充実した子育て環境、支援施策、都心へのアクセス性のよさなど本町での暮らしやすさを映像でPRすると思いますが、具体的にどのような方法か伺います。

効果的に情報発信

町長 移住プロモーションのキャッチコピー、ロゴマークの開発、移住PR動画を製作、あるいは、ユーチューブ、ヤフー、グーグル等を活用し、動画配信広告を行いまして、子育て世代に広がるように努めていきたいと思っております。

既存の移住・定住サイト、白子ライフスタイルのリニューアルを実施し、掲載内容の充実を図るとともに、町の情報が効果的に伝わる構成やデザインに更新をしていきたいと思っております。



太陽光発電施設拡大について

梅澤 哲夫 議員

議員 東日本大震災による原子力発電における大きな課題、地球環境問題CO₂の発生からの火力発電のあり方について、国では2030年から2050年を見据えた第5次エネルギー基本計画を閣議決定しました。

その中で太陽光や風力による再生エネルギーに経済的利点と、脱炭素化を図ることが方針として出されております。

町内において近年太陽光パネルの設置があちこちで見受けられますが、町として内容確認できているのか伺います。

直接関与できず

町長 町として設置内容把握ができていくかというのですが、太陽光発電設置には資源エネルギー庁の事業計画策定ガイドラインによる企画、

立案から設計、施工、運用管理、撤去計画などの法令により、適切な事業実施をしなければなりません。

今、町としては直接関与できませんが、固定資産税の収入増の反面、放射光による近隣住民への迷惑的なものも出ております。

経済産業省による白子町への導入状況は、平成29年10kw未満104件、10kw以上が212件設置されておりです。

災害時、事故発生時の対応は

議員 設置場所においては、長年管理放棄から台風などで倒木等で交通障害が発生したところもあり、パネル設置で景観美の良くなった場所もありますが、可動していても設置管理者のネームプ

レートの無いものやネット・フェンスで囲われていないところ、あるいは工事途中で何年もたつものなど色々あります。自然災害、事故発生時の町の対応について伺います。



適切な処置を

町長 町においては許認可の権限はありませんが、現実把握は困難となっております。事故発生時には災害から人命を守ることを第一に考えて、予想される電気ショック、火災、感電などから速やかに適切な処置をする必要があると思います。

軽微な設備決裁について

議員 いつ起こるか知れない災害時の避難場所に指定されており、また、今回北海道の被災地でも衛生面が叫ばれている中、台風13号でも避難場所として指定された、施設のふれあいセンターにおいて水道の故障がありました。

施設利用者から早期改善の要求があり、水道の仮復旧に数千円でできるにも関わらず何日も要した理由を伺います。

時間を要したことはお詫びします

町長 ふれあいセンター全部の運用に支障を及ぼすものではないと判断した中で、通常の業者委託としました。ただ、時間がかかったことは、お詫びします。

窓口業務は適切か

議員 ふれあいセンター水道トラブルについて窓口で電話した際、受け手の人は、担当窓口、氏名、用件を確認、内容確認について回答すべきと思うが、事案の担当者名を告げるだけでした。窓口対応について伺います。

今後十分に指導を

町長 電話対応について、課の名前と姓を名乗ることは当然だと思っております。できていない職員がいるのであれば、今後十分に指導していきます。



国土強靱化について

東海林 東治 議員

議員 国土強靱化基本法の第四条に、地方公共団体の責務を明記され、第十三条には、都道府県、市町村は国土強靱化計画を定めると明記されております。

今後どのような災害が起こっても被害の縮小が期待されると思います。その為にも事前の備えを効率的、効果的な観点で、町内の危険個所の点検を即急に策定すべきです。

南白亀川嵩上げに伴い旭橋の問題です。満潮、台風時は、水位上昇時点で周辺地域は多大な被害の可能性があります。県の国土強靱化地域計画策定内容に町の危険個所を取り上げる要望を強く求めたのか伺います。

震災後からの要望

町長 この計画は、大規模自然災害が発生しても

社会経済システムが機能不全に陥らず、迅速な復旧、復興が求められる計画ではありますが、様々な分野の調査、協議が必要で今後検討していきます。

旭橋の件は、南白亀川嵩上げ工事終了後に扉を付ける話を聞いておりますが、工事着手時期の具体的回答が届いておりません。引き続き求めていきます。

排水機稼働について

議員 過去、大雨時期に排水機場のトラブルで床下浸水被害の地域が多々あり、今後は、災害を未然に防ぐ事が大事です。

今回の台風時には、南白亀川排水場のゴミ処理機が故障のため稼働できない状態で、災害時を未然に防ぐ備えの体制（マ

ニユアル化）が必要と思います。当局の見解を伺います。

管理組合との連携強化

町長 過去には、冠水被害もあり、今後の日常管理は、三つの維持管理組合と十分な連携を取り図ってまいります。

現在は、水位による全自動運転稼働になり、又、定期的パトロールを行っております。今回、南白亀機場の余塵機が故障し本定例会で予算計上を図り即急に修理致します。



空き家対策について

議員 空き家対策特措法の施行が発表され、本町も多額な予算を投じて調査した訳ですが、空き家

の活用、相談等の情報発信の状況と新たな空き家を防ぐ予防策、管理不備の空き家解消施策、管理台帳システムの構築と今後の活用施策を伺います。

難しい課題

町長 4月に空き家バンクを開設し、ホームページ、広報誌、固定資産税の納税通知書にチラシを同封し、又、全国版空き家バンクに登録し情報発信しております。

空き家バンクの登録数は16件、来庁・電話相談数は69件であります。

空き家を防ぐ対策、管理不備の空き家解消施策もまた難門で、特措法により指導、勧告さらに行政代執行の可能性がありますが予算が関係してきます。

国、県の動向を注視していきたいと思えます。

管理台帳は、売りたい物件、貸したい物件、連絡不明リストは作成済みです。大多数が連絡なしで、この点を今後どう対処するか検討致します。

学校、避難所施設のトイレの洋式化へ

議員 本町の学校のトイレの洋式化率を伺います。子供たちの主な生活の場が学校であります。その場所が快適で安心で生きる環境が必要であります。

校舎、体育館や避難所の施設の改良に学校施設環境改善交付金の活用、又、緊急防災減災事業債の活用の施策があるかを伺います。

有効活用の検討

町長 本町の学校のトイレは157基あり温水便座洋式が72基あります。過去の生徒数率でのトイレ数でありますので十分と考えております。

学校施設改善交付金の活用は、特別教室のエアコン設置に向けていきたいと思っております。

緊急防災減災事業債は、財政的に有利な地方債であります。長寿命化計画の中で活用を検討します。

実質16年で廃業したアクア健 康センターの運営・管理責任は 如何に

石井 和芳 議員

議員 平成3年から10年の8年間で、売上9億5千6百万円に対し、人件費を4億2千万円かけ、売上高人件費比率では44・3%になっていきます。町当局は経営努力をしてきたというが、非常に疑問の残るところであります。

第2として、昨年9月の質問で、アクアセンターは観光施設でなく福祉施設なので、減価償却も修繕積立も要らないという答弁を頂きましたが、福祉施設であるならなおさらのこと、5億1千9百万円もかけた施設を実質16年で潰してしまつて良いものでしょうか。

時職員が多数を占めていた、という答弁を頂いていました。しかし2〜3人に対して年間4千万円もの給与を払っていることになりま。非常に矛盾しています。よって、アクアセンター開設時から平成10年度末までに役場職員の出向、及び当センター職員として何人採用されたか、伺います。

苦渋の選択で閉館 となったもの

町長 アクアセンターは役場の一部署として通常の職員を配置し、当初が5人、その後平成10年までは7人から9人の職員を配置していました。次に16年で潰して良いものかということであり

ますが、外的要因が一つありました。これはいい訳だといわれるかもしれないが、近隣に新しい施設ができる古い施設は魅力が薄れるもので、休養施設委員会で協議した結果、苦渋の選択として閉館となったものです。

経営責任は是は是、 非は非、として認 めるべきだ

議員 役場職員がこのようなサービス業に8人から9人従事していて採算が合う訳がないし、その様な状況を放置した経営責任は非常に大きいと思われま。またこれを看過した当時の議会にも責任の一端があると思われま。見解を伺います。

指定管理者に委託 したことが最善の 判断であった

町長 外部要因にせず、真摯に経営責任を認めるべき、という意見もあり

ますが、昔の町長の肝いりでできた砂風呂が、経費面で足を引つ張つたところもあり、白子荘とアクアセンター合わせて月額50万円(年間6百万円)で指定管理者に賃貸したことが、最善の判断であったと思っています。



魅力あるまちづく りと、観光振興の ために

議員 白子町といえば温泉というイメージは定着してきています。人口減少の歯止めとして、移住対策として、アクアセンター、及び国民宿舎のリニューアルは必要と思われま。

観光振興策としてインバウンド(訪日外国人)の取り込みも視野に入れなければならない時代で

す。その意味では目玉にできる場所と思われま。現状で何も手を入れない状態での再開は不可能であるし、又町は投資して施設を運営することも考えていません。だからこそ、共同して事業をしてくれる企業を見つけ、実行する以外方法はありませ。我々も努力します。町当局も本気で町発展を考えるなら、積極的に取り組んで頂きたいが、見解を伺います。

良い案があれば検 討はできます

町長 私には商売的なセンスがないものでうまく言えないが、事業者がそれなりのプランをもって提案頂ければ、検討の余地はある様に思われま。



自主防災組織の結成状況は

市川 隆子 議員

議員 今年は、各地で地震、豪雨、台風と大きな被害を受け、被災地は深刻な事態が続いています。どの地域でもあらゆる事態を想定して備えることが必要です。

そこで、自主防災組織の果たす役割は大きいと思いますが、町内の自主防災組織の状況を伺います。

結成のため努力



町長 町では、地域防災計画に基づき地域防災力を強化するために、自主防災組織の結成を推進しています。前年度と変わらず11地区ということ

です。組織結成のため補助金も出しながら、結成を要請しています。

災害時の水の確保は

議員 災害が起こると備蓄の水はすぐなくなりません。しかし、飲料水は不十分ながら給水車や支援等で何とか入手できます。

飲料水以外に使用する水は地下水があり、発電機があれば使えますが、町は水の確保についてどのように考えるのか伺います。

地下水は自家発電で

町長 水は一番重要であり、千葉県水道災害総合応援協定等により供給体制はつくってあります。

地下水は、各小学校に井戸があり、非常時には自家発電でポンプを動かす措置をとることを考えています。

学校の防災教育は

議員 今はどこで想定外といわれる災害が起こるか分かりません。想定外でも全小・中学生が無事に避難するためには、学校の判断や避難方法も重要です。同時に防災教育もすすめなければならぬと思います。町の状況を伺います。



防災教育は、あらゆることを想定して

教育長 全体を通しては命の大切さ、自分の命は自分で守る、安心・安全な生活を送ることなどを重点的に指導しています。教科の中でも、防災教育を重点的に取り扱っており、地震や災害から身を守ることを学んでいます。

また、火災、地震、津波、不審者、登下校中等での避難方法を学んでいます。

小・中学校特別教室へのエアコン設置は

議員 町は郡内でも普通教室へのエアコン設置は早い方であり、快適な環境で学習できたと思います。

気象庁の予測では、今年だけの異常気象ではなく、将来もふえるということですので、暑さ対策は長期的な観点で挑む必要があると思います。

町では、小・中学校の特別教室へのエアコン設置は来年度を考えているのか伺います。

来年の夏までには

町長 来年の夏までに設置できればと思っております。

今、国の対応を見守っているところで、もしかすると補正予算でお願いするかもしれません。

ひまわりを利用したまちおこしを

議員 町の良いところは、何といっても自然が豊

かなことだと思えます。農業と観光の町として、自然と共生するまちづくりを更にすすめていければ良いのではないかと思います。

そこで、町の花であるひまわりを栽培し、小規模からでも良いので、開花期には景観作物として、その後は種を取り健康に良いひまわり油を搾油し、町の特産品として育てる取り組みができませんか、見解を伺います。

試験栽培ができれば

町長 搾油するまでの大規模栽培は最初からは無理だと思えますが、試験的に栽培できればと思います。

ただ、ひまわりは草丈が高く、花を楽しむことができないのではないかとと思うので、考えながらやらなければならぬと思います。



補正予算に対する 質疑応答

平成30年度白子町一般会
計第1回歳入歳出補正予
算について

議案第1号

【宗島理仁 議員】

議員 公有財産購入費の640万円について、短期滞在型施設として利用すると思いますが、2週間程度のお試し移住を働く若い世代が長期休みをとって白子町に移住するとうことは、よほどの動機がない限り移住すらしないかと思います。在宅で仕事が出来るとレワークの環境整備や、利用する方々をどのように募集するか伺います。

総務課長 現在検討中ですが、町のホームページやインターネット、SNSを通じて広めてもらう予定です。

議員 新たな公会計制度における財務諸表につ

て、9月現在、郡内でもわが町のみ公表していませんが、いつ公表されるのか伺います。

総務課長 財務諸表の公表について、かなり遅れています。近々公表したいと思っています。

【大多和正之 議員】

議員 サッカー場用地購入費について、購入する経緯と現在のサッカー場の町の所有と借地の状況をお聞かせ下さい。

町長 今回、条件の整った方が売って頂けるとの事で予算に計上致しました。

借地の状況ですが残り2軒です。

議員 役場の裏側、北側等の借地部分を購入してイベント等の駐車場不足、災害時に使用できる用地として購入をする計画を進めるよう要望いたします。

【大多和秀一 議員】

議員 白子町サッカー場は開設当初用地のほとんどが借地であったが、用地の購入が進む中、今後の方向について伺います。

また、現在多くの大会が開催されており、使用頻度も高く、芝のグラウンドとして好評を得ています。しかしながら、駐車場等に問題があり、県道茂原白子バイパスの計画の中にも入っていることから、今後の有り方について伺います。

町長 当初は用地価格が高くとても購入できる単価ではありませんでしたが、現在では地価もだいぶ下がりました。所有者の相続等の事情も考慮しながら、購入をしていく方向で進めています。今後もできるだけ取得をしていく考えです。

また、今進められている茂原白子バイパスの計画にあることから、駐車場整備の必要性、総合的な白子町サッカー場の有り方について検討を

加えていきたいと思っています。

【市川隆子 議員】

議員 歴史民俗資料室の利用状況と管理者は専任か伺います。

また、工夫して多くの人を楽しめるような企画も必要だと思えますが、見解を伺います。

教育課長 来場者は昨年234名で、専任職員が管理しているのではなく、生涯学習課の職員が管理しています。

教育長 昨年から1名資格のある方を頼んで、物の整理をしています。整理をした結果で、次の展示方法を考えたいと思っています。

請願書

【請願第3号】

精神障害者も千葉県重度心身障害者医療費助成制度の対象とする意見書の千葉県への提出を求める
請願書

請願者

長生郡市精神障害者
家族会ひびき会
会長
江澤 秀夫（採択）

発議案

【発議案第2号】

精神障害者も千葉県重度心身障害者医療費助成制度の対象とすることを求める意見書

提出者 東海林東治
賛成者 宗島 理仁

北田 百人
今井 信夫

市川 隆子
大多和秀一
板倉 正道
齊藤 豊彦

梅澤 哲夫

（全会一致で可決）

こんなことが
決まりました
定例会(第3回)
議案等の内容

決算審査特別委員会を設置

平成29年度白子町一般会計歳入歳出決算及び5事業特別会計歳入歳出決算の審査を行うため、決算審査特別委員会が設置されました。

委員会は10月18日に一般会計の審査、11月1日に特別会計の審査のための会議を行い、次の定例会に報告書が提出されます。

選任された決算審査特別委員会委員は次のとおりです。

委員長	宗島 理仁
副委員長	石井 和芳
委員	市川 隆子
	酒井 良信
	梅澤 哲夫
	東海林 東治
	北田 百人

※その他は、広報しらこ10月号をご覧ください。

議会行政視察研修

議会は、10月9日から11日まで2泊3日の日程で、福島県及び宮城県に行政視察研修のため出張しました。

板倉議長をはじめ議会議員8名及び事務局職員2名が参加しました。

福島県相馬市では、防災拠点としての市役所新庁舎の建設について視察しました。

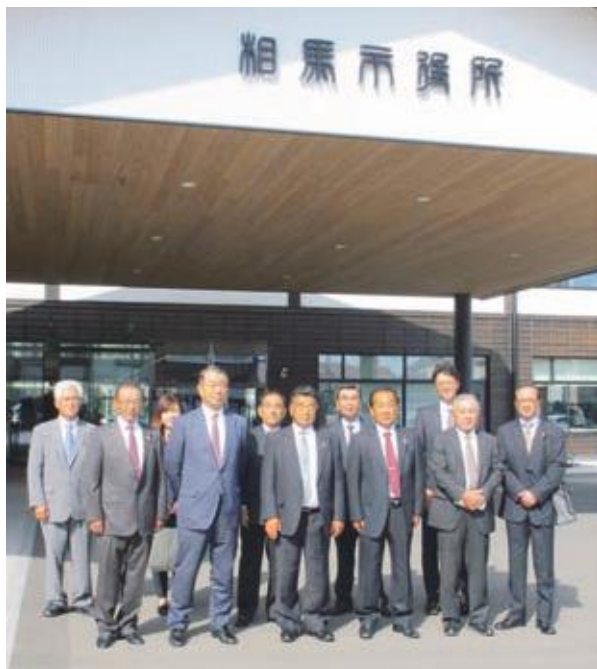
免震構造で自家発電設備を有し、災害時には避難所としても活用できるというところで、備蓄倉庫等確認しました。

宮城県山元町では、前回（平成25年）視察以降の復興状況について視察しました。

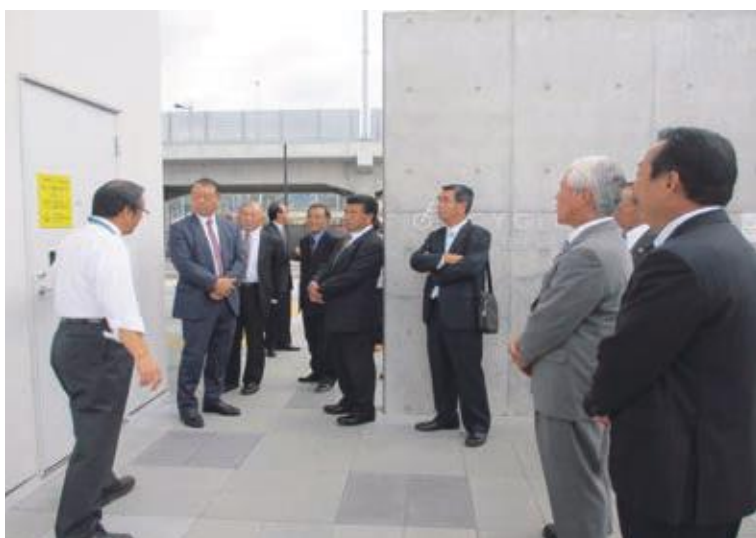
東日本大震災後の町における復興・まちづくりの進捗状況は8〜9割というところで、新たに整備された公共施設の防災機能について確認しました。

研修で学んだことを、今後の施策に生かして参りたいと思います。

難所としても活用できるというところで、備蓄倉庫等確認しました。



▲ 城下町の街並みに調和したデザインを取り入れ、防災拠点としての機能を備えた相馬市役所玄関前



▲ 山元町坂元駅前位置し、防災拠点・地域交流センターとしての役割を担う「ふるさとおもだか館」

編集後記

8月に新潟県五泉市を行政視察してきました。目的は、食育と学校給食です。五泉市は学校給食をセンター方式から自校方式に転換しました。市では、「地産地消を推進し、地域農業者が真心こめて作った新鮮で安心・安全な食材を使った給食を常に温かく、おいしく提供できるように、児童・生徒にも食を通じて教育が着実に浸透して

いる。」としています。また、小さい頃の味覚が一生の味覚を左右すると言われていました。薄味に慣れ、食を通じた健康づくりもすすめています。町でも、学校給食の地元農産物の利用は、郡内でもすすんでいます。これを更にすすめて、町民の健康づくりのために食への意識を高め、健康ポイント事業で、自分に合った運動をするなど、食育と健康づくりにつなげていければと思います。

市川 隆子

